

第2節 芸術・文化

■現状と課題

(芸術・文化)

グローバル化の進展、価値観の多様化や情報化など急激な社会変化が進む中、一人ひとりが生涯にわたって能動的に学び続けることが必要となっています。本町においてもサークル活動や愛好会など創造的な文化活動への取り組みが見られ、芸術・文化活動などへの関心も高まっています。

地域においては、優れた芸術の鑑賞機会を充実することが必要であり、芸術文化の鑑賞機会を設けていますが、全てのニーズに合うものとはなっていないのが現状です。

今後、文化活動に参加する機会を広げ、幅広い分野の文化活動の体験、自主的な文化活動への意欲を高めることや地域間の文化交流の促進、文化活動を担う人材育成が必要です。

また地域の歴史や文化などの正しい理解と、これら資料の保存や伝承・活用などの対策を充実していくことが望まれます。

(文化施設)

地域を知る上で貴重な財産となる郷土資料の展示・保存施設として、郷土資料室を設置し、資料整理、展示を行っています。

郷土資料は地域の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、この資料を保護し伝承する心を育てるとともに、保存・活用する対策を充実し、地域の貴重な資料を次の世代に引き継いでいく必要があります。

■施策の方向・主要な事業

1 芸術・文化の振興

(1) 芸術文化活動の推進

①各種芸術文化の公演を推進し、鑑賞機会の拡充に努めます。

(2) 芸術文化組織の充実

①文化協会をはじめ文化活動を行っている団体やサークルの育成及び指導者確保に努めます。

(3) 指導者、指導体制の充実

①学芸員をはじめ、専門知識をもった職員配置など、指導体制の確保を推進します。

(4) 文化施設の充実

①郷土資料の保存や伝承と活用施設の充実を図ります。

②町民センター及び定住支援センターの持つ文化活動機能の充実を図ります。

(5) 文化財の保護

①本町の歴史的文化財の保存や継承を促進します。

(6) 郷土芸能・伝統の保存

①先人が培った歴史や文化を伝承し、保存するとともに、新たな文化の創造を推進します。

●主要な事業

- ・町民文化祭の開催
- ・青少年芸術劇場の開催
- ・図書室運営
- ・小学生読書感想文コンクールの開催
- ・郷土資料室の設置、運営
- ・定住支援センターの有効的な活用